

PASSWORD MANAGER > AUTOFILL > TROUBLESHOOT AUTOFILL

ブラウザ内蔵のパスワード・マネージャーを無効にする

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/disable-browser-autofill/>

ブラウザ内蔵のパスワード・マネージャーを無効にする

Bitwardenを初めてご利用になる場合、お使いのウェブブラウザがパスワードを保存し、自動入力している可能性があります。ほとんどのウェブ・ブラウザはデフォルトでこれを有効にしているが、専門家たちは一般的に、内蔵のパスワード・マネージャーはBitwardenのような専用[ソリューションよりも脆弱](#)であるという意見で一致している。

そのため、また内蔵のパスワードマネージャーがアクティブになっていると、Bitwardenのご利用に支障をきたす可能性があるため、ウェブブラウザの内蔵パスワードマネージャーを無効にすることをお勧めします。

① Note

Bitwarden ブラウザー拡張機能は、管理されたエンドポイント全体に展開できます。
[管理対象デバイスへのBitwardenブラウザ拡張機能の導入については、こちらをご覧ください。](#)

主要ブラウザの内蔵パスワードマネージャーを無効にする方法をご紹介します：

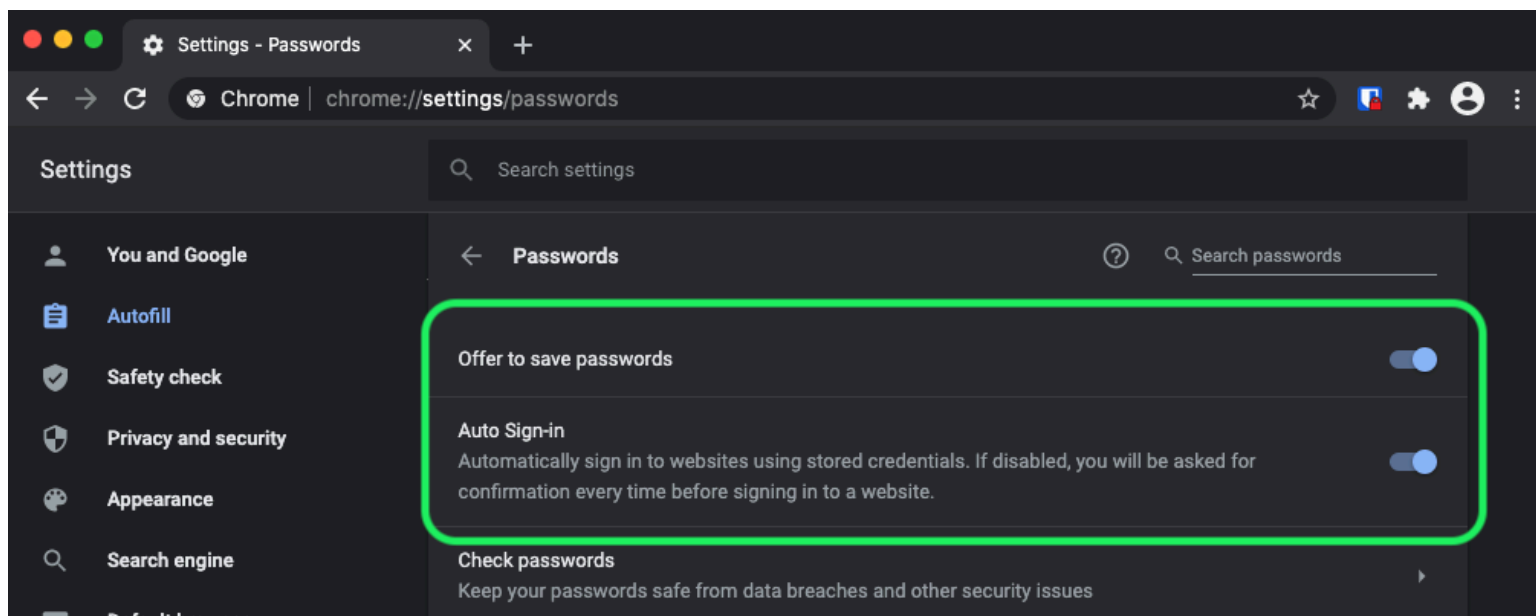
💡 Tip

Edge、Opera、Braveを含むいくつかのモダンブラウザは、「Chromium」と呼ばれるグーグル・クロームのフレームワークを使用している。これらのブラウザのいずれかを使用している場合は、**Chrome/Chromium**の手順を使用してください。

⇒クローム/クロミウム

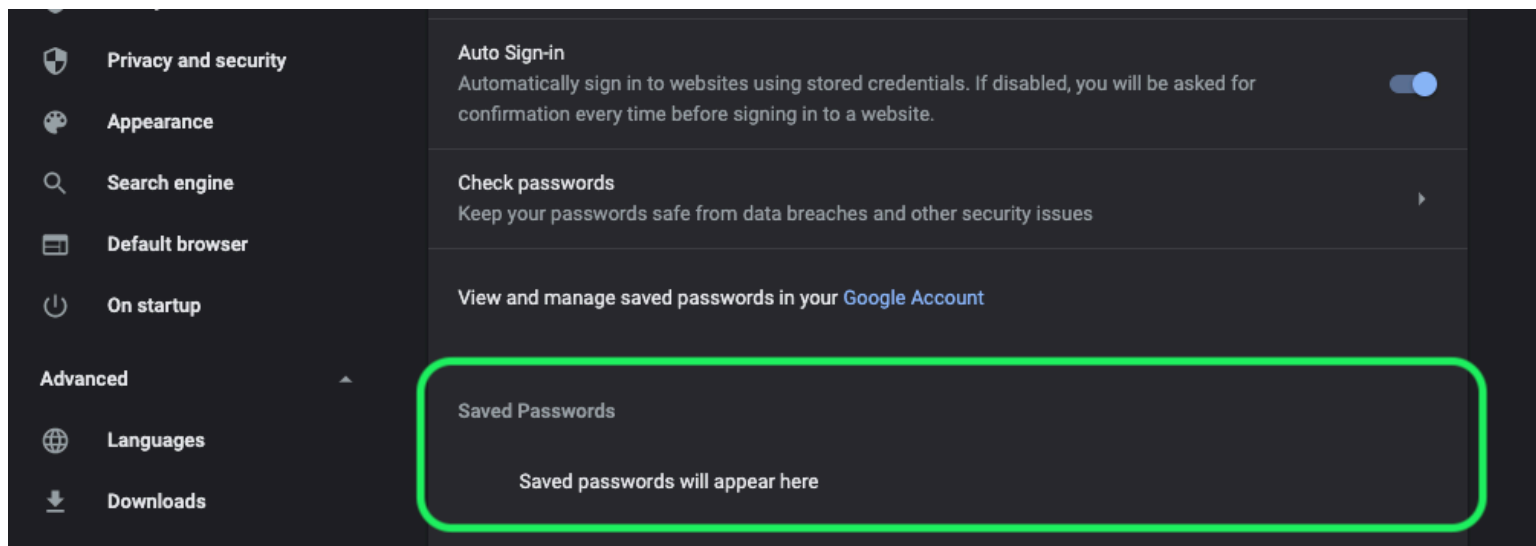
ChromeまたはChromiumベースのブラウザ（Edge、Opera、Brave）で、アドレスバーに**chrome://password-manager/settings**と入力し、ブラウザ名を **chromeに置き換えて** **Passwords** ページに移動します（例：**brave://password-manager/settings**）。

このページでは、**パスワードの保存を提案するオプション**と**自動サインインオプション**の両方をオフに切り替えてください。



Chrome パスワードオプション

このページには、ブラウザに保存されている**保存されたパスワード**も一覧表示されます。

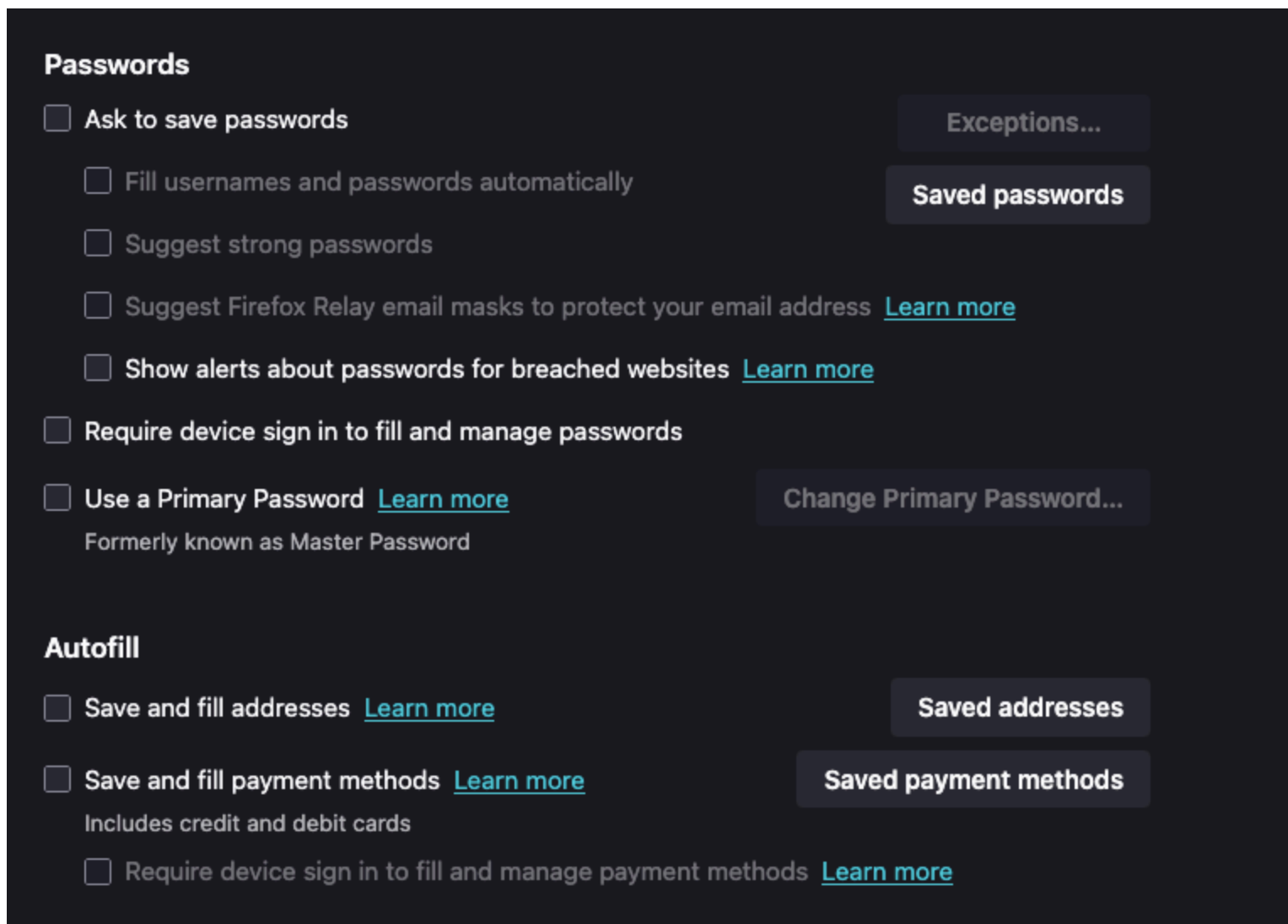


Chrome 保存されたパスワード

あなたがまだこれらのパスワードをBitwardenに保存していない場合、将来のBitwardenへのインポートのために**エクスポート**してください。エクスポートしたら、これらのパスワードをブラウザのストレージから削除すべきです。

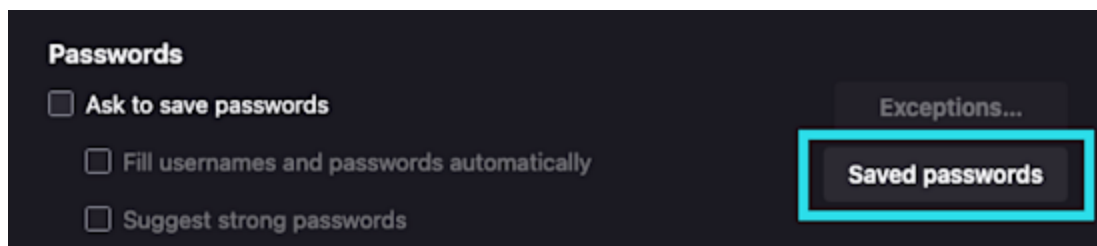
⇒ファイアーフォックス

Firefoxで、**設定** → **プライバシーとセキュリティ**に移動し、**ログインとパスワード**のセクションまでスクロールダウンします。このセクションでは、すべての事前にチェックされたオプションのチェックを外してください。



Firefox パスワードオプション

また、「保存されたログイン...」ボタンを選択することで、Firefoxがすでに保存しているログインを確認することもできます：

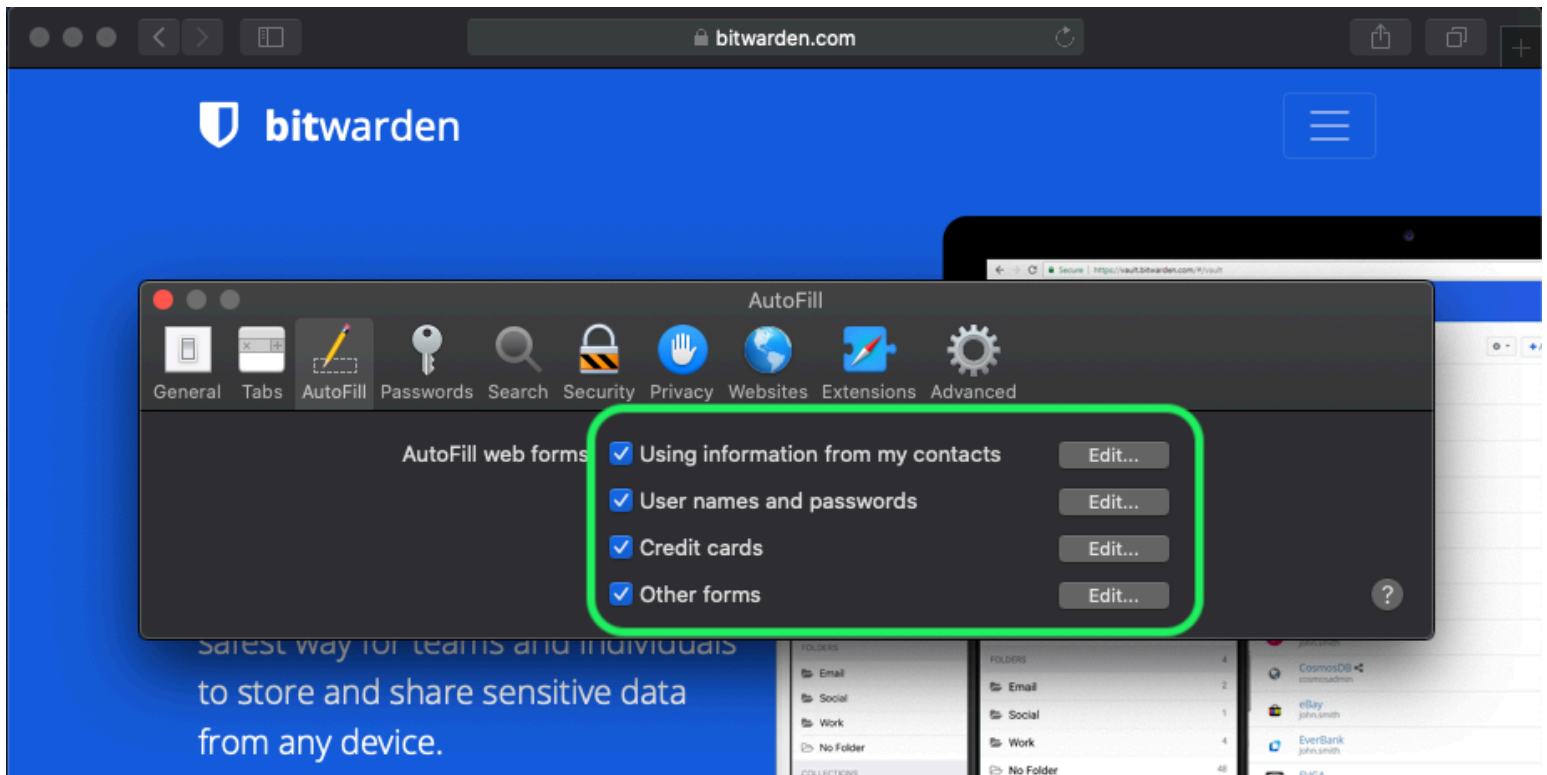


Firefox 保存されたログイン

これらのパスワードをまだBitwardenに保存していない場合は、将来Bitwardenにインポートするために[エクスポート](#)してください。エクスポートしたら、🔑 Firefoxからこれらのパスワードを削除してください。

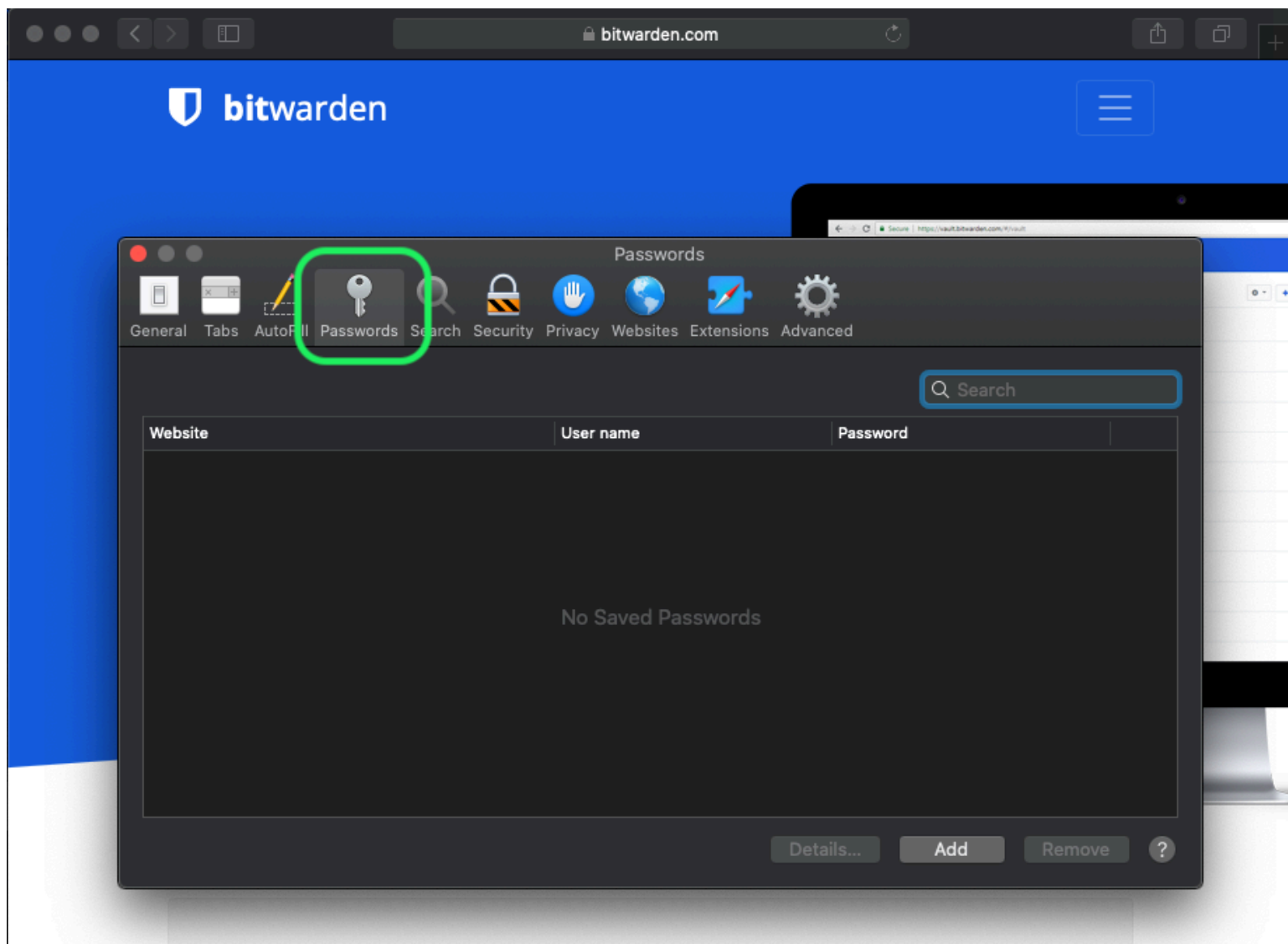
⇒サファリ

Safariで、メニューバーから**設定**を開き、**自動入力タブ**に移動します。このタブでは、すべての事前にチェックされたオプションのチェックを外してください。



Safari パスワードオプション

Safariがすでに保存したパスワードを調べるには、パスワードタブに移動する必要があります。

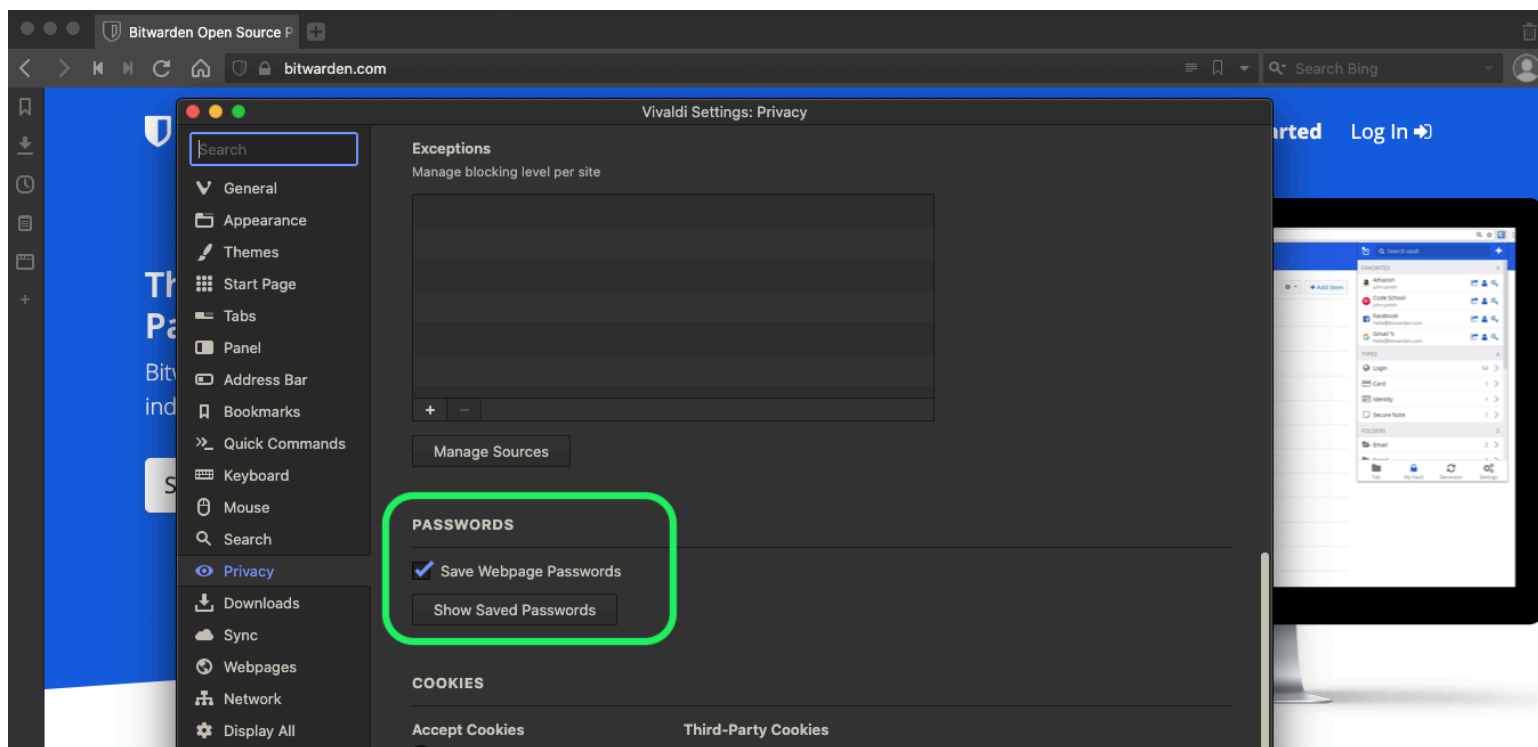


Safari 保存パスワード

これらのパスワードをBitwardenにまだ保存していない場合、これらのパスワードのためのログインアイテムをBitwardenで作成してください。すべての保存されたパスワードがBitwardenにある場合、これらのパスワードをSafariから削除してください。

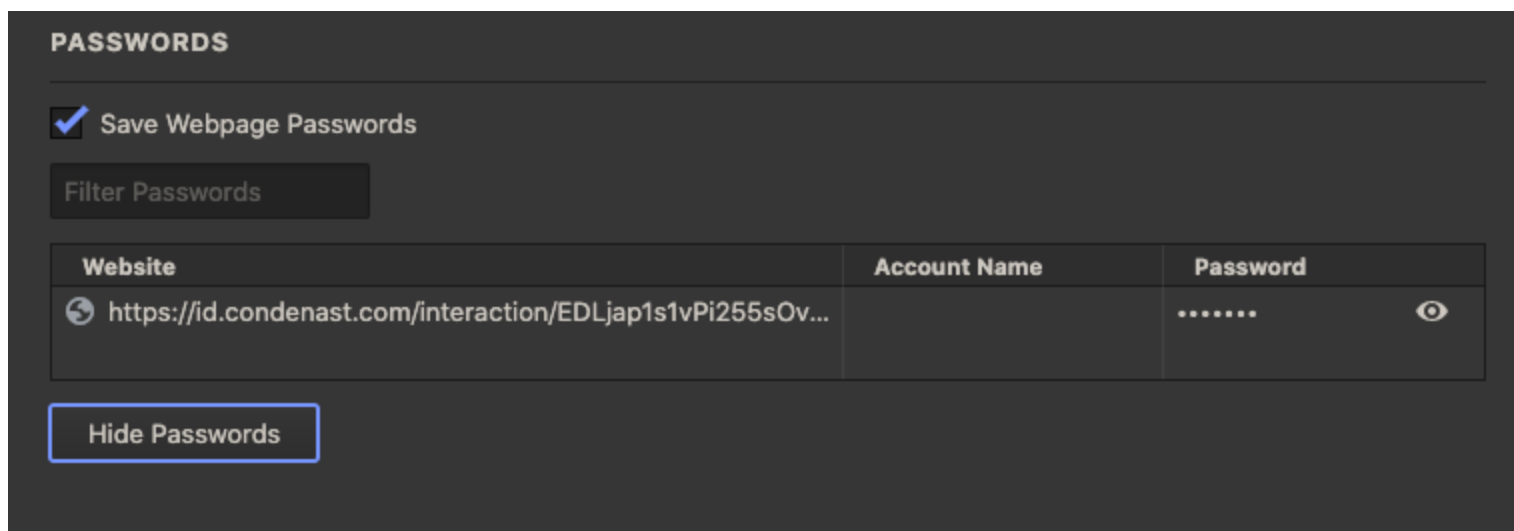
⇒ヴィヴァルディ

Vivaldiで、 **Vivaldi設定**ウィンドウを開き、左側のナビゲーションから👁 **プライバシー**を選択します。パスワードセクションまでスクロールダウンし、**ウェブページのパスワードを保存**のオプションのチェックを外します。



Vivaldi パスワードオプション

また、Vivaldiがすでに保存したパスワードを確認するために、**保存したパスワードを表示**ボタンを選択する必要があります。



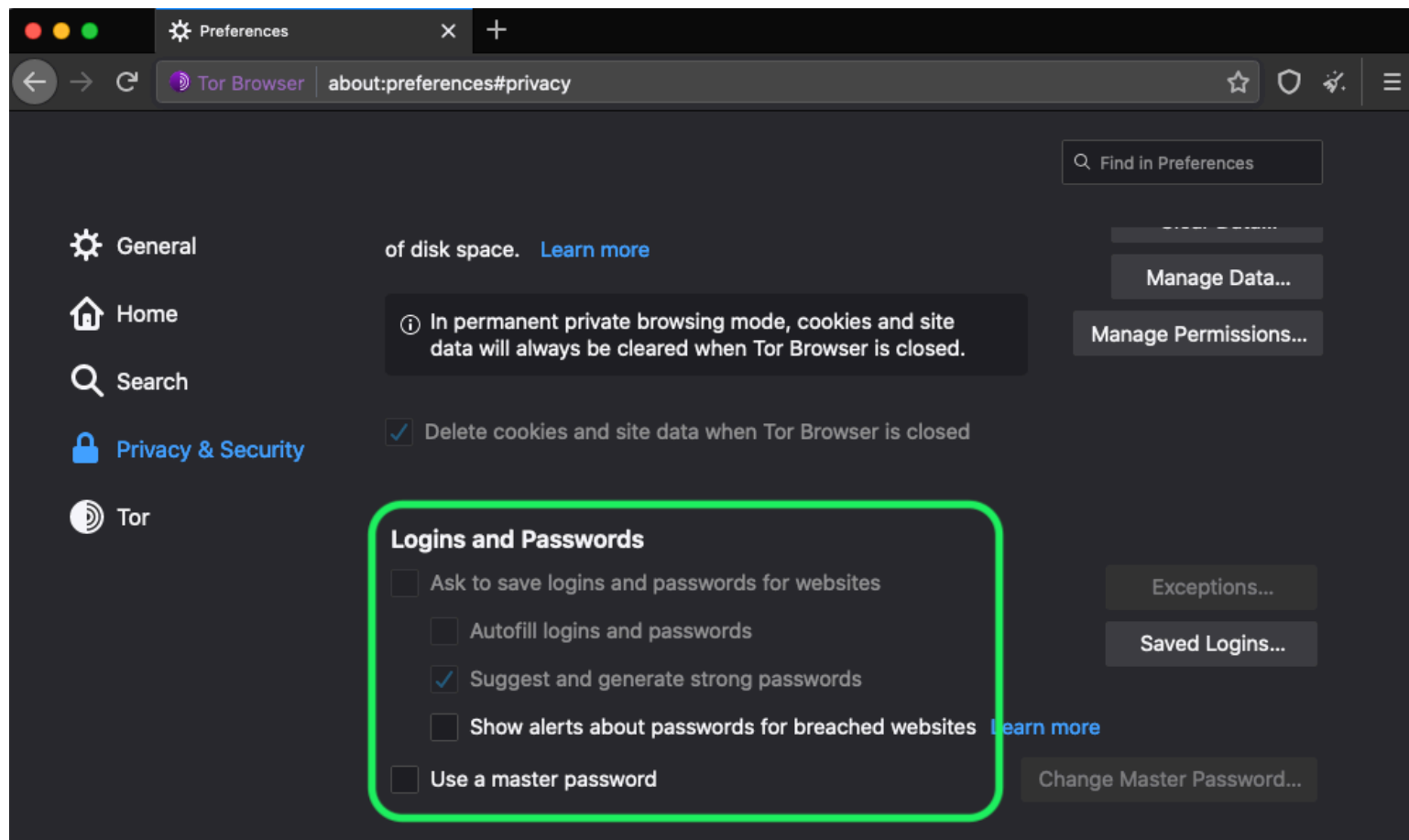
Vivaldi保存されたパスワード

これらのパスワードをBitwardenにまだ保存していない場合、これらのパスワードのためのログインアイテムをBitwardenで作成してください。すべての保存されたパスワードがBitwardenにある場合、それぞれを右クリックして**パスワードを削除**を選択することで、これらのパスワードをVivaldiから削除します。

⇒ トーア

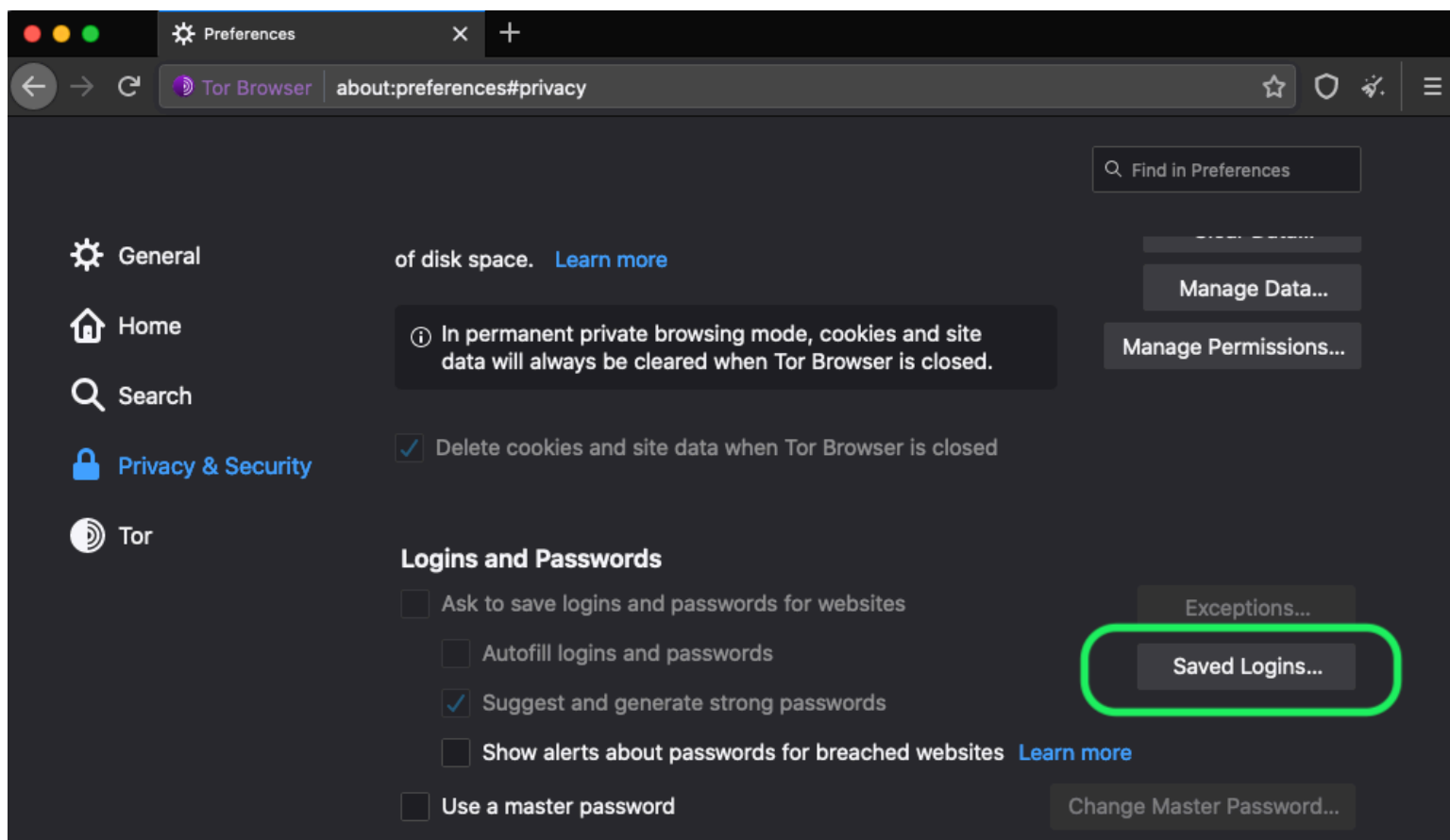
Firefoxと共通のルーツを持つにもかかわらず、Torはデフォルトでログインを保存しないという点でユニークです。あなたがTorを手動で設定してログインを保存し、自動入力するように設定していない場合、すでに全て設定済みです。

もしそうした場合、アドレスバーに**about:preferences#privacy**を入力して、**パスワード** ページに移動し、ログインとパスワードのセクションまでスクロールダウンしてください。あなたがチェックしたすべてのオプションをオフにしてください。



Torパスワードオプション

また、**保存されたログイン...**ボタンを選択することで、Torがすでに保存しているログインを確認するべきです。

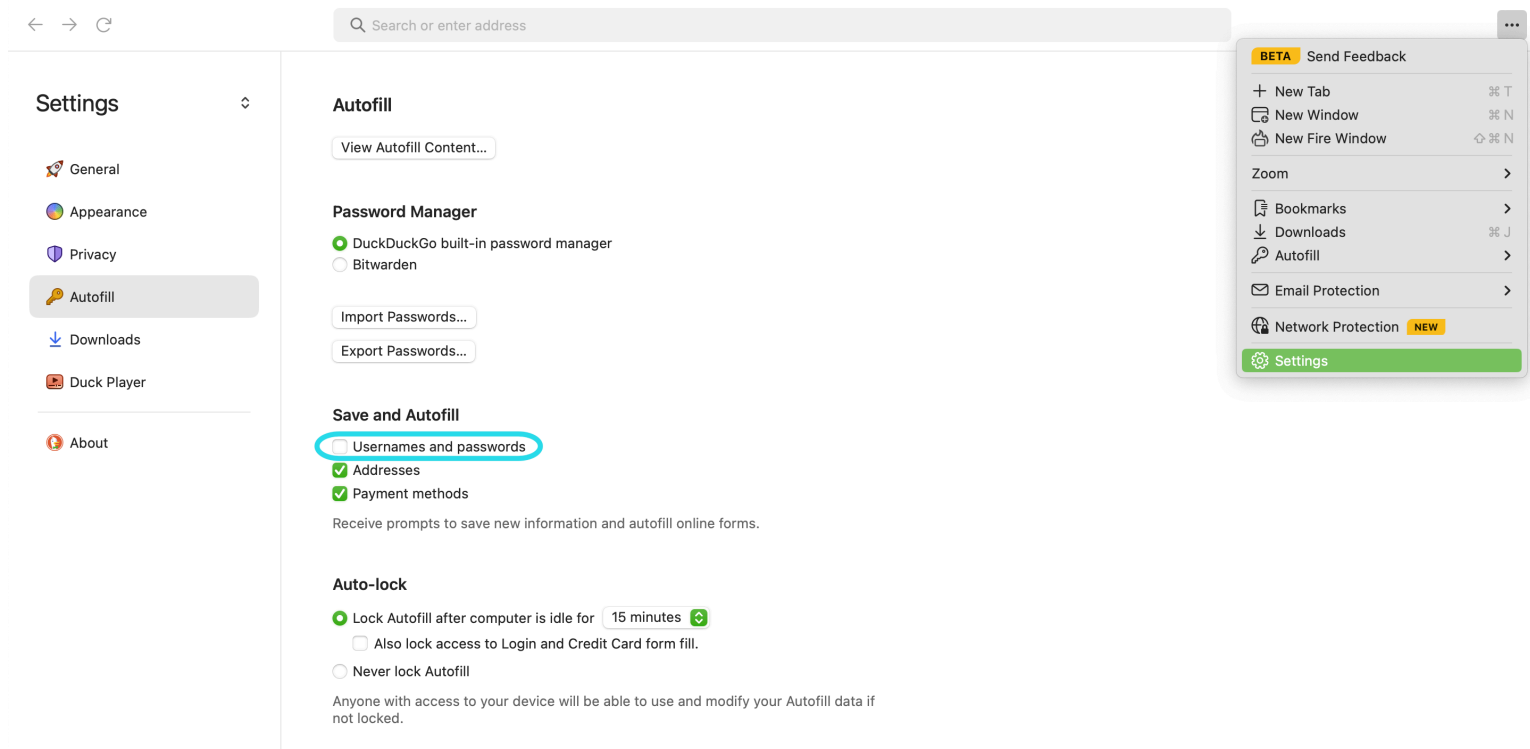


Tor保存パスワード

これらのパスワードをBitwardenにまだ保存していない場合、これらのパスワードのためのログインアイテムをBitwardenで作成してください。すべての保存されたパスワードがBitwardenにある一度、🗑️ 削除 これらのパスワードをTorから。

⇒DuckDuckGo

DuckDuckGoで、**設定 → 自動入力**に移動します。この画面から、**ユーザー名とパスワード**のボックスのチェックを外してください。



DuckDuckGoパスワードマネージャーを無効にする

あなたは、**エクスポートパスワード**を選択することで、既存のデータのバックアップを作成することができます。バックアップファイルを作成したら、**自動入力コンテンツを表示...**を選択し、保存された自動入力データを削除して、以前に保存した提案を削除します。

パスワードマネージャーセクションでは、macOSユーザーはBitwardenを使用することを選択できます。Bitwarden DuckDuckGo macOS ブラウザ統合についての詳細は[ここ](#)で学びましょう。